

WB実修所ビーバースカウト課程

セッションの目標

	セッション	セッションの目標
第1日	§ 1 プログラムトレーニングについて (昼食含む、120分)	1. 本研修の目的と日程について知る。 2. 本研修の運営方法について知る。
	§ 2 隊運営の共通理解 (120分)	1. スカウティングにおける一貫性について認識を深める。 2. ビーバースカウト隊におけるスカウト教育法の運用について認識する。
	§ 3 課題整理 (90分)	1. 自隊の課題を明確にし、その課題を主体的に解決する意欲を持つ。
	§ 4 ビーバー隊のプログラム (120分)	1. ビーバースカウト隊の隊運営の方法について認識する。 2. ビーバースカウト部門におけるプログラムプロセスについて深く認識する。 3. より良いプログラムのための要素や年代特性について認識する。 4. 活動目標とプログラムの関係を深く理解する。
第2日	§ 5 プログラム企画Ⅰ (150分) - 1 スカウトニーズによる隊集会企画 (50分)	1. ビーバースカウト年代の特性や興味・ニーズについて認識し、それらを十分に活かした隊集会プログラムを組み立てることができる。
	- 2 保護者のニーズによる隊集会企画 (50分)	1. 保護者のニーズ、社会のニーズについて認識し、それらを十分に活かした隊集会プログラムを組み立てることができる。
	- 3 活動目標による隊集会企画 (50分)	1. 活動目標を達成する隊集会プログラムを組み立てることができる。 2. スカウト教育法に基づく隊集会プログラムを組み立てることができる。 3. ビーバースカウト年代に合わせたスカウティングの技能等を組み入れることができる。
	§ 6 プログラム企画Ⅱ (プログラム計画) (150分)	1. さまざまな素材を活用した楽しい隊集会プログラムを組み立てることができる。
	§ 7 プログラムへのアプローチ (90分)	1. 活動への参加意欲を高めるための具体的な手立てができる。
	§ 8 プログラム展開の計画と準備 (120分)	1. 隊集会プログラムを基に、実施計画書が適切に作成できる。 2. 隊集会を充実させるためのさまざまな資源の活用方法について認識する。 3. プログラム展開をより豊かにする工夫と準備ができる。
第3日	§ 9 プログラム実習 (昼食含む、240分)	1. 隊集会実施計画書に基づいて隊集会を実施できる。
	§ 10 プログラム評価 (120分)	1. プログラムを評価することの重要性を認識する。 2. プログラムを評価する際の観点と評価方法について認識する。 3. 隊集会プログラムの評価ができる。
	§ 11 保護者へのアプローチ (120分)	1. 保護者とのコミュニケーションの重要性を認識する。 2. 保護者とのコミュニケーションを豊かにするための心構えとその具体的方法を理解する。 3. 保護者のスカウティングに対する理解や信頼度を高めるための具体的な手立てができる。
	§ 12 プログラム企画Ⅲ (120分)	1. 自隊で実施する隊集会プログラムを作成する。
第4日	§ 13 実務訓練課題 (60分)	1. 本研修をふりかえり、訓練ニーズを評価する。 2. 「実務訓練」のねらい、意義、その具体的な取り組み方法を理解し、自己研修計画を立てる。